

八頭町総合教育会議(第6回) 会議録

- 一. 日 時 令和元年12月19日(木)16:15~17:30
二. 場 所 船岡庁舎1階 庁議室
三. 出席者 吉田町長 高橋総務課長
 薮田教育長 山崎委員 加藤委員 大上委員 谷口委員
 事務局 新田次長兼学校教育課長、奥平社会教育課長
 書 記 学校教育課主任 前田

四. 議事日程

1. 開 会
2. 会議録署名委員の指名
3. 町長あいさつ
4. 協議事項
 - (1) 令和2年度当初予算の基本方針について
 - ① 少人数学級協力金について
 - ② 特別支援学級の支援員体制について
 - ③ 通級指導の充実について
 - ④ 準要保護児童生徒就学援助制度について
 - ⑤ 部活動指導員の配置について
 - ⑥ ICT 整備及び ICT 支援員の継続配置について
 - ⑦ スポーツ指導員の継続配置について
 - (2) 不登校・いじめ防止対策について
 - ① 令和元年度児童生徒の不登校に関する調査
 - ② 令和元年度児童生徒の問題行動に関する調査
 - ③ 令和元年度児童生徒のいじめの認知に関する調査
 - ④ やず教育支援センター「みどりヶ丘教室」の通級状況
 - ⑤ スクールソーシャルワーカーの取り組み状況について
 - (3) コミュニティスクールについて
 - (4) 学校施設の改修事業等について
5. その他
 - ① 美術品・文化財・本田實氏に関する資料等の保管・展示場所の検討
 - ② 第15回森下広一杯八頭町マラソン大会(記念大会)について
6. 閉 会

— 会 議 の 経 過 —

1. 開 会 16:15 (教育長)

2. 会議録署名委員の指名(教育長)

加藤教育委員 谷口教育委員

3. 町長あいさつ

行政も財政面で苦慮をしている部分があるが、教育環境の整備は色々行ってきた。ICTの部分は順調に対応してきたが、エアコンの設置は年次的に整備予定だった中でとても急なことだった。費用として3億8千万円かかったが、補助金の割合は約13%で4,900万、残りは国の交付金や基金を崩して対応をした。議会から工事について指摘を受けることもあったが、なんとか完了することができた。

来年度は小中学校の洋式トイレの設置、体育館の多目的トイレの設置が大きな事業になると思う。未来を担う子ども達のために頑張りたい。

また、旧安部小学校では山本虎之助さんが財団を立ち上げ、絵画教室や展示をしたいということで、校舎2階を貸し出すことになった。改修費は財団が持つ。1、3階のスペースが残るので、町とすれば文化ゾーンとして活用ができないかと考えている。可能ならば1階には地区公民館やまちづくり委員会が入ったら良いのではないか。3階は名誉町民である橋本興家さんや本田實さんの作品・資料の展示などを考えていただければと思う。

4. 協議事項(説明:次長)

(1) 令和2年度当初予算の基本方針について

① 少人数学級協力金について

学校が統合して複式学級はもうないため、少人数学級協力金のみ。来年度は小学校が600万(今年度1,100万)、中学校が400万(今年度同額)となっている。

② 特別支援学級の支援員体制について

特別支援学級の一覧と支援員の配置を資料で確認。

③ 通級指導の充実について

マンツーマンで読み書きの指導を受けるため、郡家西小学校に通級している。現在15名が通っている。令和2年度は現在通っている子どもを含めて49名が「通級が望ましい」と報告に上がってきている。

④ 準要保護児童生徒就学援助制度について

県東部地区の状況を2018年11月に調査したものでは、岩美町はクラブ活動費や生徒会費、智頭町は生徒会費やPTA会費を支援している。本町も生徒会費やPTA会費といったどの子にもかかってくる費用を支援したいと考え、当初予算で要求をしている。新たに加えた場合の費用は小学校が37万5千円、中学校が45万7千円、計83万2千円の増となる。近隣の町村と足並みを揃えたい。

⑤ 部活動指導員の配置について

現在、部活指導員は八頭中学校のバスケット部に1名入っていただいている。今年度は補助に乗れなかったため、来年度は補助を受けられるように1名希望予定。外部指導員制度も別にあるが、そちらは試合の引率などができない。部活動指導員は引率が可能で学校としても利点。1時間あたり1,520円、補助対象の指導時間は年210時間まで、社会保険もつく。

⑥ ICT 整備及び ICT 支援員の継続配置について

ICT支援員を2年間配置していただき感謝している。本年度限りという話だったが、来年度から県の補助が新たに設けられることになった。来年度は小学校だけ継続配置をしたい。学校からは重宝しているという話も聞いており、引き続き体制を整えたい。

プログラミング教室は民間業者のアクシスに3年間委託をしており、一昨年と昨年はクラブ活動の指導のみだったが、今年はクラブ活動だけではなく積極的に授業に入って指導してもらっている。来年度からは正式にプログラミング教育が導入されることになるが、プログラミング的思考はどの教科に取り入れてもいいことになっており、情報教育担当者が集まって今年度中に年間計画を作成して実践へ向かいたい。

ICTの整備計画は令和2年度までしか策定していないため、今後の計画を立てていかなければならない。

国が1人1台のPCやタブレット端末を整備するというGIGAスクール構想について、昨日担当者説明会が行われた。来週に国が県へ詳細の説明を行う予定。端末やネットワークの整備の補助金が国から出る予定だが、今年度に補正予算を組む場合と、補正予算を繰り越して令和2年度事業として実施する場合では、前者の方が財政的に有利なため、とりあえず補助金を使う方向で手をあげておきたい。

⑦ スポーツ指導員の継続配置について

県の補助は今年度までだが、来年度も引き続き単町費で配置をして、ジュニア育成に努めてもらいたい。

【質問・意見】

(町長) ICT支援員の県補助はいくらなのか。

(次長) 来週にならないと詳細がわからない。

(町長) 町が単独で事業を行っていることから、県に補助の要望をあげていた。それが今回制度化されたと思われる。

(町長) 通級指導は具体的にはどのようなものか。

(次長) マンツーマンで丁寧に読み書きを教えている。集団の中だともう一息という子ども達をピックアップしている。

(町長) 授業の時間帯は。

(教育長) 通常の授業時間帯で指導を受けている。

(次長) 郡家西小に来て、指導が終わったら自分の学校に帰っている。

(町長) 送迎はどうしているのか。

(次長) 保護者や、保護者が難しいときはファミリーサポートセンターにお願いしている。ファミサポの送迎にも援助費は出る。

(教育長) 例えば、黒板の板書をノートに書き写すことが困難な子もいる。そういう子の力をつけてやりたいと思っている。通級指導の効果は高い。

(次長) 基礎的な力なのでここをしっかりとやらないと次へ進めない。入級したらずっとそこにいるわけではなく、力がついたら審査のうえ退級することもある。

読むのは読めるけれども書けない子や、小さい音が入ると書けない子など、色々なパターンの子どもがいるので、個人個人で対応している。白兔養護学校や聾学校から先生に来てもらって、専門的な指導をしてもらっている児童もいる。

(町長) 読み書きだけか。

(次長) 基本読み書きだけ。漢字を書いたり読んだりの初歩的なところを学び、丁寧に対応してもらっている。

(町長) 今年は15人で、来年度が49人というのは対応できるのか。

(次長) 49人というのは通級が望ましいという人数。本当は全員通わせたいところだが、先生も1人しかいないため、本当で必要な子どもを優先している状況。

(教育長) 判定するのは教育委員会ではない。ベテランの先生が子ども達を見ながら判断してもらっている。

(次長) 通級用で加配の先生をあててもらっている。

(町長) 相対的に低学年が多いが、5、6年生はいいのか。

(次長) あまり高学年はいないが、年齢が低いときに対応した方が力がつきやすいというのはある。

(町長) ICT 整備の話。一応手をあげておくという話だが、やり方だと思う。1人1台行くような形で授業を組むとか。そういう形にしないと全児童というのはなかなか厳し

い。説明でも言われていたが更新の時期は一度にくる。

(次長)これから計画を立てるときに学校と話をする。

(町長)理想はそうだが、補助は少ししか貰えないだろう。

(総務課長)国の補助は1/2と書いてはあるが実際にどうなるかはわからない。

(教育長)全部整備しようと思ったら1,100台以上。

(町長)全国のことでは八頭町だけの話ではない。

(教育長)すでに持っているものを差し引いたとしても、数は多い。

(町長)使うのは1年生からか。

(次長)新聞によると高学年と書いてある。県の説明会の中ではそういう話が出てきていなかったようなので、よく聞いてみる必要がある。

(教育長)23日に行われる国の説明会でどんな話があったかを聞いてから、具体的に検討しようと思っている。

(総務課長)ネットワークを一斉に接続したらサーバーの方が高額になりそう。

(次長)現状としてはグループ学習が出来る台数を整備している。八頭町はICTの部分はとても恵まれた環境で、全国的にもトップクラスと言われている。多く予算を付けていただきありがたいが、プラスでもう少し整備をしていきたい。

(教育長)どちらにしても児童生徒数は減っていくので、今の規模に合わせて整備したとしても、すぐに使わない端末が出てくるのが目に見えている。それも含めてきちんと精査していきたい。

(総務課長)移動式の端末でもいいし、必要な時に各教室に持って行ける形にしたらどうか。

(次長)基本はその形だと思う。

(教育長)本当に1人1台必要かといったら疑問が残る。

(町長)私たちだけで話をしてもいけないので、委員さんには何かありますか。

(委員)これから先は1人1台でなくとも、それに見合うような体制を作ればなんとかならないのかと感じている。サーバーにも費用はかかってくる。難しいのではないかと感じている。

(町長)急に思いついたような話。エアコンもそうだった。

(教育長)全体で2,318億の予算。

(町長)それで本当に足りるのだろうか。

(教育長)エアコンでも1/3補助と言っていたが、実質的には1/6になってしまった。

(次長)これから県が国の話を聞いて、その情報提供を受けてから、どういうふうに整備していくか計画を立てて、必要な分だけを整備していきたい。

(教育長)岩美町の学校に今年モデルで入っているよう。その辺りも情報収集したい。

(教育長)その他、委員の皆さんはどうでしょうか。

(委員)東部教育委員の研修会で行われた意見交換で、「なぜ八頭町は学力が高いのか」と他の市町村の委員さんに聞かれた。それは町長さん以下、行政の援助を多く受けているためだと話をした。特別支援にしても、子ども達へ厚い手当をしてもらっている。学級が非常に落ち着いている。来年度も学力向上のために行政の支援をよろしくお願いしたい。

(町長)ありがとうございます。

(町長)もう1点。ICT 支援員の活動報告書を見てみると、先生によって活用状況が色々のようだ。

(次長)そうだと思う。上手に利用している先生もおられるが。

(町長)これからの時代を考えると、実際 ICT を使った授業は避けて通れなくなる。積極的に支援員と関わって授業に活用できるように。せっかく同じ費用を払っているのだから、それを活用する先生とそうではない先生がいるのはもったいない。条件は一緒なのだから。

(次長)ある小学校の校長先生は ICT 関係に興味を持っておられて、ICT 支援員を上手に使って「こういったことはできないか」と積極的に話をしておられる。

(町長)校長先生の意識は確かに影響するかもしれない。

(次長)中学校はあまり活用ができていない部分が見えているが、小学校は重宝していると言ってもらっている。

(町長)本来なら中学校の方が熱心に使うべきだろうが。児童も中学生になる頃には PC にも詳しくなっているだろうし。

(総務課長)先生によって利用量が違うというのは問題。八頭町の生徒として同一の形で学ぶ方がいい。支援員の方にも先生に指導してもらうときには情報共有をしてもらって授業につなげてもらいたい。

(教育長)相当量使ってもらっているのは確か。ベテランの先生方も頑張って使ってもらっている。写真を撮ってくるなど事前に準備をして授業に使っている。引き続き利用してほしいと話をしていく。

(次長)電子黒板を各教室に一台入れてもらっているのは県下でもない。しかし、折角入れているのに使ってもらえないのは悲しい。

(町長)宝の持ち腐れになってしまう。

(次長)使って欲しいと積極的をお願いをしているところ。支援員の方にも本当によくしてもらっている。通信簿をつけるC4thというシステムでも使い方を指導してもらって助かっていると聞いている。

(町長)県からの補助を期待しておく。

(2) 不登校・いじめ防止対策について

- ①令和元年度 児童生徒の不登校に関する調査
- ②令和元年度 児童生徒の問題行動等に関する調査
- ③令和元年度 児童生徒のいじめの認知に関する調査

資料を見ながら説明。いじめの件数は小さい芽のものも含めている。数は昔よりあがってきているが、細かく対応したいと思っている。

④やず教育支援センター「みどりヶ丘教室」の通級状況

現在6名が通級している。毎日気持ちよく通っている子や、ほぼ学校に通えているがクールダウンをしに時々来る子、学校にチャレンジしている子などさまざま。自力での通学が難しい子は最寄り駅まで来てもらい、先生が迎えに行っている。

⑤スクールソーシャルワーカーの取り組み状況について

県の補助あり。とてもよく活動してもらっており、学校からの信頼も厚い。県内の中でも常勤でいる市町村はあまりないが、現在のSSWはスキルが高い。学校だけではなくて保育所や家庭の保護者にも関わってもらっている。学校から少し心配な子がいると話があれば、一緒に給食を食べたり聞き取りをするなど、対応をしてもらっている。

(3) コミュニティ・スクールについて

令和4年度に導入予定。中学校区に1つ置くことになっている。八頭町の場合は小学校が4つ、中学校が1つあるため範囲が広すぎて厳しい。まずは小学校から置きたいと思う。

県内では南部町が平成18年から取り組んでいる。地域の将来に向けて、地域が学校に関わって一緒に子どもを成長させようとしている。高校生サークルを立ち上げて、その子達が卒業して青年団を作り、その後に関場の職員にもなった人もいる。学校だけが子どもを育てる訳ではなく、地域が一体となって育てる。そういった取り組みを始めたい。

学校教育課だけで取り組むのではなく、社会教育課とも連携していきたいと思っている。来年度の予算には準備のための会合の経費を要求している。もしかしたら公民館とも連携をしないといけないと思っている。全国的には地区公民館と連携をしているところが多い。色々な成り立ちがあるのでそこにきちっとはまる訳ではない。最終的には中学校でも立ち上げたい。

(4) 学校施設の改修事業等について

① 町内小中学校のトイレ洋式化について

設計費については12月補正で対応した。校舎のトイレの洋式化事業と、体育館が避難所になるということで多目的トイレを設置・改修する事業の2つがある。

トイレの洋式化は工事費だけみると3億を超える。和式が3つあれば洋式が3つできるというわけではない。どうしても洋式になると個数が減る。そうすると配管も変えなければならない。今後のメンテナンスのためにも管の下に人が入れるようにするピット構造というのがあるが、それをした場合の予算の金額。本当にそこまでしないといけないのかを精査しつつ、配備していきたい。

多目的トイレの改修については緊急防災減災事業債で対応。補助がある間行いたい。ただ、郡家西小学校は大規模改修が近く控えており、現在でもトイレの数が子どもの数に比べて少なく、大規模改修時に同時にするほうが良いと考えている。八東小学校は統合時にすべて洋式化しているので今回は費用発生しない。

その他、郡家西小のプールのトイレは来年度予算で改修したい。普段からスポーツ少年団が使用したり、運動会や盆野球大会等のイベント使っているため、なるべく財源措置があるときに手をつけたい。

② 郡家西小学校大規模改修事業について

改修費用としては6億をみている。改修の経費について県から連絡があり、長寿命化改良事業と大規模改造事業の2通りがあり、長寿命化の方が財源的に有利ではないかということで、そちらを考えている。長寿命化は必ず実施しないといけない工事がありハードルが高いため、本当に向かえるかどうか検討して決めていきたい。

補助金を使うにあたって長寿命化計画を作らないといけないため、本年度中に策定予定。

【質問・意見】

(総務課長) 郡家東小学校も改修が予定されていたと思うが。

(教育長) 令和3、4年度に郡家西小、令和5、6年度に郡家東小を行う。

(次長) 郡家東小はトイレの改修を待ってもらうのも期間が長いので、財源があるうちにトイレを改修して、大規模改修の時にはトイレは改修しない。

(町長) 事業をするにあたって財源がどうなのかが課題。

(次長) エアコン事業のことも考えると、国の補助も1/3といいながら1/6くらいがいいところではないかと予想している。

(総務課長) もう少し勉強させてほしい。大規模改修ということに該当すれば、継ぎ足

- し単独ということで交付税の対象になるかもしれない。財政と協議させてほしい。
- (教育長) 事業費3億というのはピット構造の場合で、目一杯計算して出している。事業費圧縮も含めて協議をさせてもらいたい。
- (総務課長) 今後30年使ったときに、次は建て替えかという話になってくると思う。
- (次長) 大規模改修というのは40年保たせることを目指しての改修。
- (総務課長) 長寿命化というのはできるだけ伸ばしたいということだが、コンクリートの耐久年数は60年と言われている。一見綺麗にしたとしても、これをしたら寿命が50年伸びるということではない。
- (町長) 教育委員さんには話をしているのか。
- (次長) 話はしている。
- (委員) 大変なことだと思っている。
-
- (町長) コミュニティスクールについて、ピンとこない。
- (次長) 学校評議員制度は現在もあるが、委員は学校の基本方針や運営について意見は言えない。コミュニティスクール(学校運営協議会制度)は意見が言える。
- (教育長) 学校運営の基本方針の承認、教育委員会や校長に対して意見を言うことができる。また、教職員の任用について意見を言うこともできる。しかし、教職員の任用について制度に入れているところは少ない。
- (委員) 保護者としても任用については入れてはいけないと思う。
- (教育長) 地域や保護者住民が一緒になって学校運営、それをするにあたって必要な支援をしながら進めて行くイメージ。例えば、郡家東小で活動してもらっている「ばあばの会」はボランティアとして色濃く関わってもらっているが、コミュニティスクールが導入されれば、さらに意見も言えるようになる。
- (町長) 委員の人数は決まっているか。
- (教育長) 特には決まっていない。
- (次長) 今ある学校評議員制度を残してもいいし、無くしてコミュニティスクール一本にしてもいい。
- (教育長) 学校は困りごとを相談してもいい。
- (次長) 学校は地域のものだという捉え。
- (教育長) 一例としては、学校運営協議会の会長は地区公民館の館長や自治会長といったところもある。いきなりは作れないので準備をする。

5. その他

- (1) 美術品・文化財・本田實氏に関する資料等の保管・展示場所の検討
旧安部小学校の貸し出しと改修について。

(2) 第15回森下広一杯八頭町マラソン大会(記念大会)について
記念大会として何か考えたい。

(町長) 参加費が安すぎるのではないかと。他の大会をみると結構参加費をとっているのではないかと。

(社会教育課長) 確かにとっているが、八頭町は安さを売りにしているところがある。

(町長) そういう時代ではないのではないだろうか。参加費が高くても参加者は来る。

(教育長) ハーフに参加している人が多い。他の大会とは少し違う部分はある。

6. 閉 会 17:30 (教育長)